

I つくば S D G s

I

SDGsとは

持続可能な開発目標(SDGs)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までの国際目標です。MDGsの達成に向けた努力により、5歳未満で命を落とす子どもが減り、より多くの子どもが学校に通えるようになるなど、多くの前進がありました。国際社会が数値目標を掲げたことが、多くの成果につながってきたのです。しかし達成期限の2015年が近づくにつれ、"平均値"で見る進展の陰に取り残された子どもたちがいることや、格差の拡大等、

MDGsではカバーしきれない課題があることもわかつてきました。

SDGsは、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、公平性のアプローチとして地球上の誰一人として取り残さない(*leave no one behind*)ことを誓っています。社会・経済・環境の3側面の統合的な開発を目指し、発展途上国も先進国も共に取り組むべき普遍的な目標です。そして、政府、企業、大学・研究機関、市民社会などあらゆる関係者による取組が期待されています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう



6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさも守ろう



16 平和と公正をすべての人に



17 パートナーシップで目標を達成しよう



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



つくば市の取組

豊かな自然、最先端の科学技術、世界に開かれた多様性など、つくばには先人たちにより守られ、受け継がれてきた資産があります。また、2005年のつくばエクスプレス開業以来、沿線地区を中心に人口は増加傾向にあります。このように多くの強みを持つつくば市ですが、周辺地区の少子高齢化を始め様々な課題が山積し、2030年には生産年齢人口が減少し始める見込みで、労働力低下や税収縮小も懸念されます。

これからつくば市には、諸課題を克服しながら次の世代に持続・発展させていくための持続可能なまちづくりが求められています。つくば市に集積する技術や多様な人材を活用し、SDGsの達成に向けて挑戦していくことはこの市の使命とも言えます。

I

持続可能都市ヴィジョン

つくば市はSDGsの考え方を取り入れ、2018年2月19日に「持続可能都市ヴィジョン」を公表しました。このヴィジョンでは、2030年までに目指すまちの姿として4つの都市像を掲げています。

- 包摂都市 誰一人取り残されず、自分らしく生きられる
-

- 人材都市 人が集い、自ら考えられる人が育つ
-

- 科学技術都市 科学技術をいかし人を豊かにする
-

- 共創都市 まちの魅力を市民が共に創る
-

[

SDGs未来都市に選定



2018年6月15日、つくば市は、経済・社会・環境の3側面における新しい価値の創出を通して、持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市として、国から「SDGs未来都市」に選出されました。全国で29都市が選ばれ、北関東圏ではつくば市が唯一の「SDGs未来都市」です(2019年3月現在)。「SDGs未来都市」の取組は、先進的な事例として全国の他の自治体はもちろん、世界的にも情報発信されていきます。

普及講座を実施



SDGsに対する理解を促進し、市民の皆様と共にSDGsの達成に向けて取り組んでいくため、市民向けの講座を実施しています。SDGsをとおし、世代や立場の垣根を越えた様々な市民同士が集い、ネットワークを築く機会にもなっています。

学習支援



つくばこどもの青い羽根基金



Tsukuba
Tomorrow Labo

TSUKUBA
TOMORROW
LABO

しかし、SDGsという言葉は、
なかなか市民の皆さんにとっては
聞きなれないもののはず。

そこで、つくば市は、つくば市ならではの方法で
「一言で言えないか」と考えました。

これから やさしさの ものさし つくば S D G s

今までの「あたりまえ」に、
ほんのすこし、ちがう見方を加えてみること。
それを、これからルールにしようと思うのです。
すべての人が、しあわせになれるか。
先のことまで、考えられているか。

そんな「やさしさのものさし」で、
今を見つめなおしてみる。
自然と向き合い、科学のちからを借りながら、
あたらしいものを生み、世界に伝えてゆく。

つくば市のこれからをつくることは、
この星のこれからをつくること。
そう信じています。

さらにこれを、老若男女誰にでもわかりやすく。

たとえば、「 」を、あたらしい見方で。

「こどもたちの未来」

こども7人のうち、1人が貧困状態。
世界の話ではなく、日本の話です。

「科学」

他の星ではたらくことが、
他の国ではたらくことぐらいに
思えるように。



「 教育 」

学びたいという気持ちがある。
なら、学び方は何だっていいんだ。



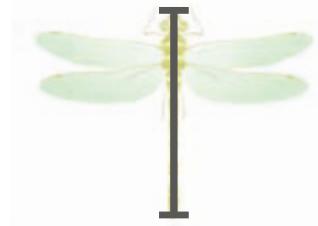
遊びが、学びにつながるまち。
それが、つくばです。



「環境保全」

ロケットがたくさん飛ぶ未来と同じくらい、
トンボがたくさん飛ぶ未来もだいじにしたい。

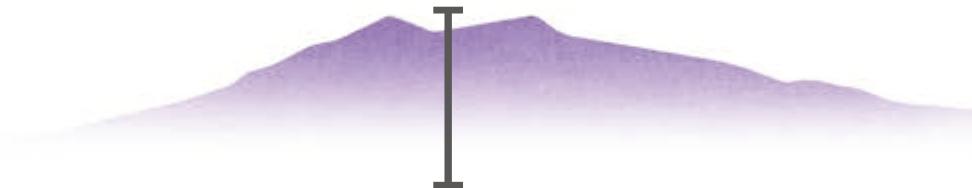
地球の環境問題は、
家の洗面所でだって守れる。



資源を節約するために、
体力をつけてみるのはどうだろう。



ずっと昔から、
私たちを見守ってくれた筑波山。
今度は、私たちが恩返しする番だ。



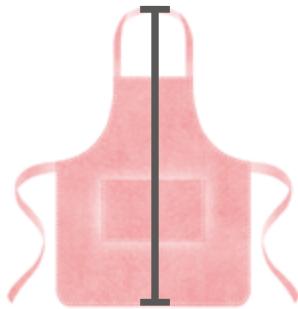
「交流」

「いただきます」を、
もっと地元に向けてみる。
地産地消って、そういうこと。



「多様性」

エプロンが
男の人にたくさん売れるまちは、
すてきなまちだと思う。



「暮らし」

未来には、
宿題ではなく
プレゼントを残したい。

世界遺産はないけれど、
お気に入りの公園がある。
それが私たちのじまんです。



「福祉」

道で会っても、
すぐに「かわいいね」と触らないこと。
補助犬にとっては、それがやさしさです。



つくばの未来を
見たいから長生きしよう。
そう言われるような、
まちにしよう。



高齢者にやさしいまち。

それは、未来の自分たちに
やさしいまち。



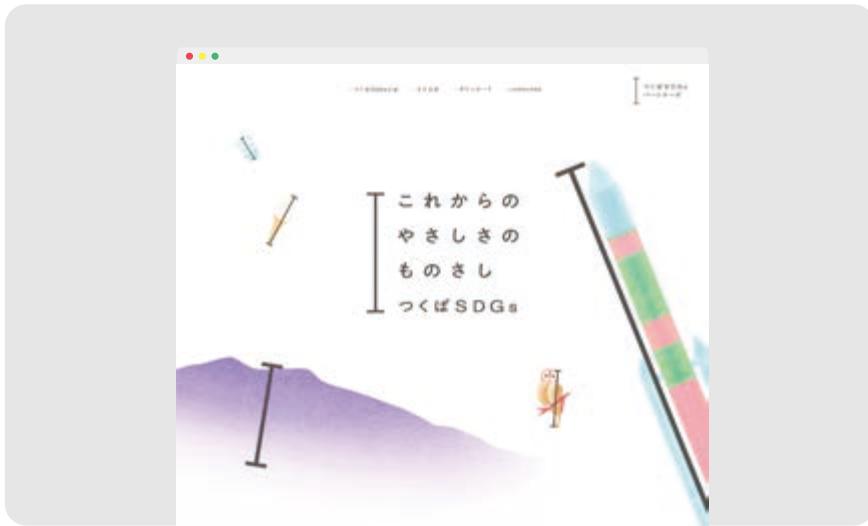
つくば市では、

他にも様々な取り組みを行っています。

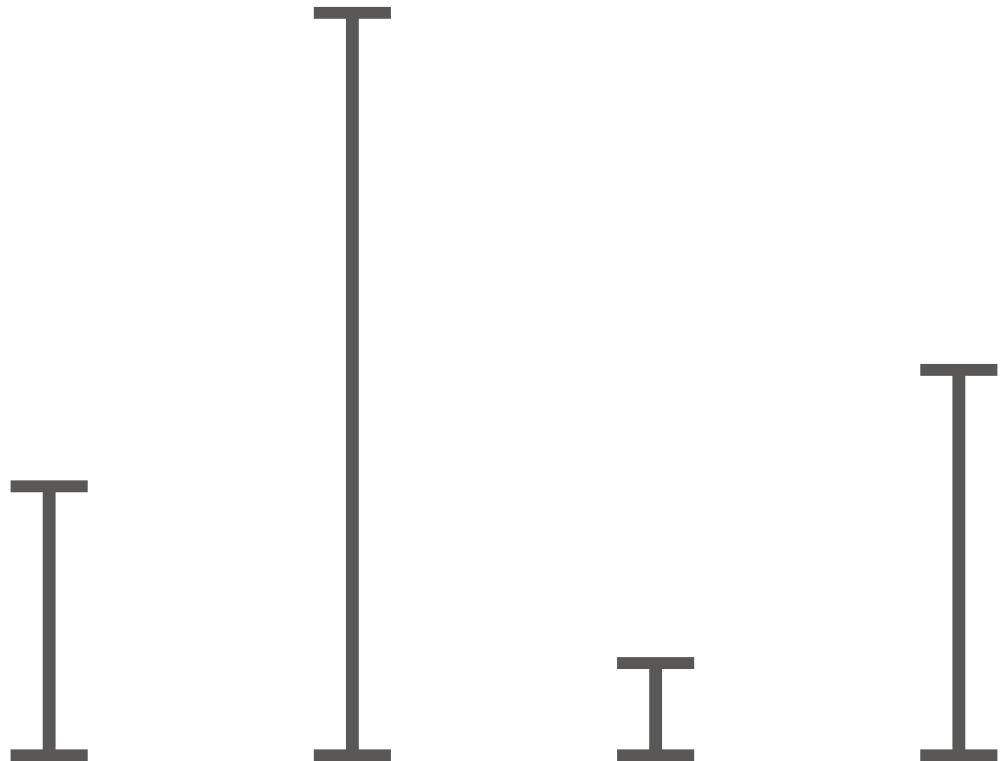


これからやさしさのものさしを、
あなたにも。

今後は、つくばSDGsの特設ウェブサイトから情報を発信していきます。



<https://www.tsukuba-sdgs.jp>



つくば市役所 〒305-8555 茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1 電話番号 029-883-1111(代表)